

TOP ウクライナ アメリカ 中国・台湾 朝鮮半島 欧州 アジア  
中東 国・地域

トップページ > 世界がわかるQ&A > プーチン大統領の判断ミス？「ロシアは“ならず者国家”に」

2022年12月27日 [プーチン大統領](#) [ウクライナ](#) [ロシア](#) [ヨーロッパ](#) [注目の人物](#)

## プーチン大統領の判断ミス？「ロシアは“ならず者国家”に」



「プーチン氏は偉大な戦略家から最悪の戦略家になってしまった」

国際的なリスク分析で知られるアメリカの国際政治学者イアン・ブレマー氏は、ウクライナへの侵攻を続けるロシアのプーチン大統領について、こう語りました。

ロシアによる軍事侵攻で世界は大きく変わり、二度と元には戻れないと指摘するブレマー氏。

いったいなぜ元には戻れないのか。今後、世界はどうなってしまうのか。ブレマー氏の分析です。

(聞き手 アメリカ総局 佐藤真莉子)

※以下、ブレマー氏の話

### 軍事侵攻が始まったとき、どう考えたか？

残念ですが、ロシアはウクライナに侵攻すると思っていました。

プーチン大統領とロシア政府が「ウクライナのナチス政権がウクライナ南東部でロシア市民に対する大量虐殺行為を行っている」と国民に訴えた時点で。しかし、国土を丸ごと奪おうとしたことにはかなり驚きました。ロシアの侵攻はウクライナ南東部だけに限られる可能性の方がずっと高いと思っていました。

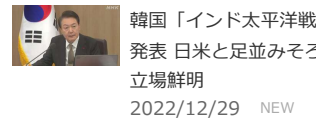
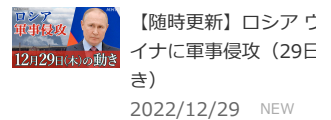
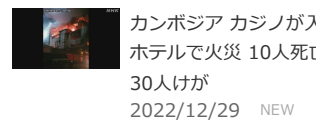


「NHK一般サイト プライバシーノート (パーソナルデータの取り扱い)」を公表しました。 [こちらからご覧ください。](#)



新型コロナ  
世界の感染者数

NEWS WEB  
国際ニュース



もっと身

NEWS WEB  
国際ニュースランキング

- 1 ロシア外相“ウクライナが降伏まで侵攻続ける”
- 2 【解説】ウクライナへの軍事侵攻 今後 鍵となる3つの要素は
- 3 中国 200台以上の車巻き込まれ 故 車内に多くのドライバー
- 4 【詳細】ロシア ウクライナに軍事侵攻 (28日の動き)
- 5 ウクライナ 東部ルハンシク州が点奪選めぐり攻防激化か

注目のサイト

[ウクライナ情勢 特設サイト >](#)  
[中東解体新書 >](#)  
[国際報道2022 >](#)  
[キャッチ！世界のトップニュース](#)  
[アメリカ大統領選挙2020 >](#)

注目のタグ

[アメリカ](#) [ヨーロッパ](#) [中国](#)

ロシア プーチン大統領 (左・2022年12月)

朝鮮半島 中東 アフリカ テ  
中南米 オセアニア

彼らにはキーウにまで行き、ウクライナ全土を獲得するほどの兵力はありませんでしたし、全土獲得のためにはウクライナ人が全く戦わないことが前提にならなければなりません。2014年からウクライナ南東部で戦ってきたウクライナ人が戦わないなどと想定できるでしょうか。

プーチン大統領の判断ミスはそもそもはっきりしていたものの、それがこれほど大きなミスになったことに驚きました。

検索



アメリカの国際政治学者 イアン・ブレマー氏

## ロシアによる侵攻で世界は変わったか？

西側諸国、ヨーロッパにとって、大きな転換点となる出来事となりました。

冷戦終結後の30年間、我々には平和の恩恵があり、ヨーロッパ各国は自分たちの安全保障と防衛にお金を使う必要がなくなりました。経済や社会保障にこれまでよりもはるかに集中することができたのです。それがほぼ一夜にして終わってしまいました。

戦争が始まってからの数週間、私はNATO本部のことを考えていました。NATO本部にはベルリンの壁の一部と2001年のアメリカ同時多発テロ事件で破壊された世界貿易センタービルの鉄骨が展示されています。



NATO本部に展示されているアメリカ同時多発テロ事件のモニュメント（ブリュッセル）

それらは地政学的な意味で最も象徴的な2つの破片です。1つは冷戦終結を象徴するもの、もう1つはアメリカにとって史上最長で最終的に敗北したアフガニスタン戦争を象徴するものです。

そして私は、ウクライナのどこか、キーウのどこかががれきが、いずれNATO本部のベルリンの壁やツインタワーに加わるだろうと思いました。つまり、今回のロシアの侵攻は、西側と地政学的秩序にとって、あの2つの出来事と同じくらい重要な転換点なのです。

「NHK一般サイト プライバシーノティス (パーソナルデータの取り扱い)」を公表しました。 [こちらからご覧ください。](#)



ロシアからのミサイル攻撃を受けたキーウ市街（2022年10月）

## 世界の安全保障、経済、政治にどんな変化をもたらしたか？

まず、ロシアを“ならず者国家”にしました。G20のメンバーが他のすべての先進国から強制的に引き離されたのは史上初めてです。

先進国はロシア中央銀行の資産を凍結し、オリガルヒの資産を差し押さえ、貿易を断絶しました。SWIFTの金融取引を停止し、莫大なコスト増になるにもかかわらず、ロシアのエネルギーから遠ざかりつつあります。

ロシア経済は当分激しく落ち込むことになり、それを元に戻すことはほとんど不可能です。



モスクワ

そしてもちろん、食料と肥料の価格が大幅に上昇したため、途上国がより深刻な飢餓に直面するという影響も出ています。食料と肥料では世界最大の生産・輸出国である2つの国が戦争になることでサプライチェーンに大きな混乱が発生しています。



「NHK一般サイト プライバシーポリシー (パーソナルデータの取り扱い)」を公表しました。 [こちらからご覧ください。](#)

最後に、当然ですが、西側諸国はより緊密に連携するようになりました。NATOは拡大し、防衛費も大幅に増えました。前線への配備もはるかに多くなっています。ウクライナ政府は、欧米各国から、非常に多くの防衛装備品や訓練、情報を得ています。

特に欧米関係は強化され、日本や韓国、オーストラリアとの同盟関係までもが強くなっています。もしロシアがウクライナに侵攻していなかったら、岸田首相は「日本の防衛費をGDP比2%にする」と発表していたでしょうか。

---

## プーチン大統領がミスをした？

---

孫子の言葉に「敵が間違いを犯しているときには決して邪魔をするな」というのがあったと思いますが、ロシアの敵はご存じのように数多くの間違いを犯していました。

アフガニスタンで失敗し、NATOは弱体化し、ヨーロッパ各国は防衛費を使おうとしませんでした。アメリカにはトランプ前大統領がいて、アメリカ第一主義の立場でした。「なぜNATOが必要なのか」というところまでいったのです。フランスのマクロン大統領は「NATOは脳死状態で我々は戦略的自治を求める」と言っていました。NATOはあらゆる面で弱体化し、アメリカは独自の道を歩んでいました。



アメリカ トランプ前大統領

まさにそんな中、プーチン大統領はヨーロッパを攻撃するというとんでもない行動に出て、そのたった1つの行為がNATOを団結させることになりました。彼は地上戦を始め、ポーランドに、そしてNATOに直接流入する何百万人ももの難民を生み出したのです。

プーチン大統領の行動がNATOを団結させ、NATOを強化したのです。彼はチェスの名手でありロシアの偉大な戦略家だったはずですが、最も重大な戦略的ミスを行いました。世界の舞台においてこれまでで最悪の戦略家の1人になってしまったのです。

---

## ポーランドに落ちたミサイルについての見解の相違は？

---

ゼレンスキー大統領は直後に「ロシアのものだ」と言いましたが、その後、撤回しました。

ゼレンスキー大統領は戦争のさなかにあり、生き残るために戦っているのです。彼自身、毎日ロシアに脅かされています。そして彼は非常に愛国的で自分の主張を通すため偽情報を使用することもあります。そんなことで我々は驚かないし我々は彼を支援します。